

平成26年 第2回木津川市議会定例会 開会あいさつ

本日ここに、平成26年第2回木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には、何かとご多用のところ、ご出席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、議員の皆様には、平素から市政の運営にあたりまして、ご理解とご支援をいただいておりますことにあわせて厚くお礼申し上げます。

さて、早いもので、平成26年度も2か月が経過いたしました。この間におけます、できごとについて、議会冒頭の貴重なお時間をいただきまして、4点ご報告させていただきます。

まず、1点目は、木津川市商工会の合併についてでございます。

去る5月1日に、木津・加茂・山城の3つの商工会が合併され、府内では4番目の規模となる、会員数1000人を超える木津川市商工会が誕生しました。

今後は、将来の木津川市の商工業の展望を見据えつつ、合併効果を最大限に活かしていただき、会員各位が役員のみなさんと共に一致団結され、地域商工業の支援組織、地域経済の先導者として、一層飛躍されることを心から期待しております。

また市といたしましても、木津川市商工会との連携を深める中で、地域商工業の振興を図ってまいりたいと考えております。

次に2点目は、木津川市消防団操法大会についてでございます。

平成26年度は隔年で行われます操法大会の年でございます。6月29日に相楽台小学校で開催されることとなっております。

各部では、すでに訓練が始まっており、私も先日には指導員による操法の展示を拝見させていただきました。

消防団員の皆様が、生業の傍ら、地域住民の安全・安心のため、日々、訓練に励んでいただいているその熱意と真剣な姿勢に、地域防災への並々ならぬ思いを感じ、非常に心強く感じたところでございます。

皆様のご努力に心より敬意と感謝を申し上げます。

3点目は、京都国立博物館で開催されています特別展覧会「南山城の古寺巡礼」についてでございます。

この展覧会は、海住山寺、浄瑠璃寺、岩船寺、現光寺、蟹満寺、神童寺と木津川市内の6か所のお寺を含め、南山城の11のお寺の仏像や仏画などの国宝や文化財を中心に展覧されています。

他にも、椿井大塚山古墳から出土した卑弥呼の鏡ともいわれます三角縁神獣鏡の他、高麗寺跡や馬場南遺跡からの出土品など、数多くが展示されており、毎日1000人を超える来館者が木津川市の魅力に触れられています。

また、6月3日には、入場者が5万人を突破したとのうれしい情報もございました。

私もオープンの日と6月1日に観覧させていただきましたが、本物の迫力と美しさに大きな感動を得ることができました。

何よりも、何百年、何千年といろんな時代を越えて長い間、大切に守り続けてこられた先人の皆さんに、心から感謝の思いでいっぱいになりました。

また、歴史文化財の他にも市内には、全国にアピールできる魅力が数多くありますが、先日には、全国で約13万部が発刊されています鉄道ジャーナルにおいて、大仏鉄道跡が紹介された他、約1170万部が発刊されてるJAFメイトでは、当尾の石仏群が誌面を飾りました。

これからも木津川市の魅力を全国に広めることで、市の活性化を、より一層、推進してまいりたいと考えております。

最後に、5月9日に新聞各紙に掲載されました「日本創生会議」の人口試算についてでございます。

この試算は、西暦2040年には、全国1800の市区町村の内、896の市区町村で20～30代の女性が半分に減少し、これらの市区町村は消滅の可能性もあるという、ショッキングなものでした。

このような中、木津川市は、府内では唯一、20～30代の女性が増加する団体となっており、増加率では全国の市区町村の中で10位、市の中では2位に位置付けられるという非常に喜ばしい結果が示されています。

あくまでも試算でありますので、私も、今回の結果に奢ることなく、引き続き「木津川市に住みたい、住み続けたい、そして住んでよかったと思えるまち」を目指して、さらに努力をしていかななくてはいけないと思いを強くしているところでございます。

さて、本定例会にご提案いたしております、議案につきましては、お手元にお届けいたしておりますとおり、同意7件、承認10件、議案6件、報告6件となっております。

詳細につきましては、後ほど、ご説明させていただきますので、よろしくご審議いただき、全議案ご同意、ご議決いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが今定例会の開会のごあいさつとさせていただきます。